



## 黄金の1週間を終えて！

新学期が始まり最初の1週間を「黄金の1週間」と呼ぶことがあります。この言葉は、とある教育評論家がつくられた言葉だと記憶していますが、先週はまさにこの言葉どおりの1週間でした。新しい学年、新しい友だち、新しい先生、新しい教室、新しい教科書・・・すべてが新しいことばかり。児童にとっては新しい宝物と出会いワクワクが止まらない1週間だったのではないのでしょうか。毎日全ての学級をまわり学習の様子を見ているのですが、張り切って発表したりていねいにノートに書いたりする姿や掃除時間に一生懸命に掃除をしたりする姿から児童一人一人のやる気がみなぎっていることが伝わってきました。

学校生活すべての場面で、今年はこんな目標を持って頑張ろうとか、こんなことに挑戦したいなどと新たに気持ちをリセットし、大いなる希望と期待を抱きながら学校生活を送っている姿がこの1週間随所に見られました。

教師サイドから言うと、この1週間こそがそういった児童の気持ちにこたえるかけがえのない1週間であると同時に、新しい学級のルールや人間関係を形成しスタートダッシュをするとても大切な時間でありました。

羽合小学校を担う高学年の教室の前には次のようなことばが掲げられていました。



### 6年生

「夢に向かって6オン」

- ・だれかのせいではなく だれかのために
- ・あたりまえの1日をたいせつに



### 5年生

「めざすところに向かって進もう！」

- ・最大限の努力を

### 高学年としての自覚

を持ち、何を目標として今年1年行動していけばよいか既に児童の心に刻まれています。その他の学年でも、学級目標を決めたり、個人の1学期の目標を定めて掲示したりするなどしていました。一人一人が学校生活の主人公として成長し、それぞれの願いをかなえるための、そして、羽合小学校をよりよくしていくための動きがこの「黄金の1週間」ですでに始まっています。



全ての椅子がきちんと入っています。こんなところにも一人一人の意識の高まりを感じます。(特別教室へ移動後の教室より。)